

- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

〈B課題の部〉



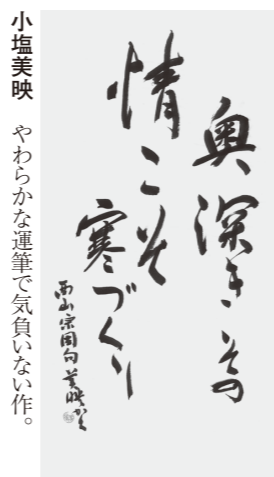
山口紫煙 「寒づくり」が秀逸。



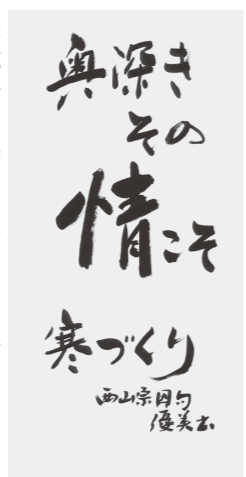
上田真翠 落款まで一貫性がある。右に働く線もほしい。



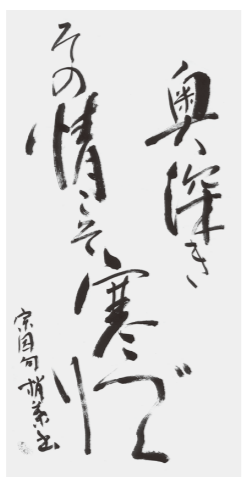
松本朋子 真摯な作品制作が魅力。



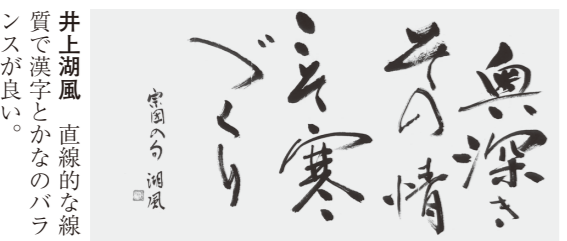
小塩美映 やわらかな運筆で気負いない作。



稲垣優美 横書きを強いリズムで奏でている。



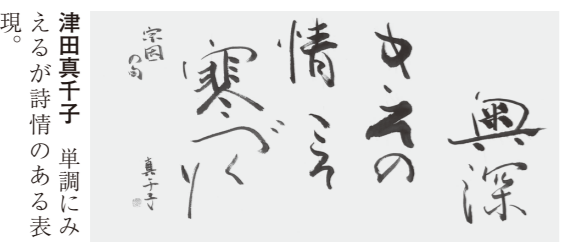
坂東梢葉 文字に大小をつけ、主張のある作。



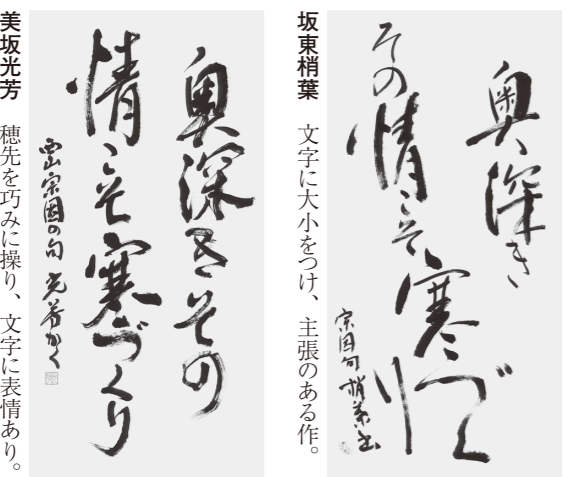
井上湖風 直線的な線質で漢字とかなのバランスが良い。



佐々木綾香 文字を密着させ、重厚感をうまく演出。

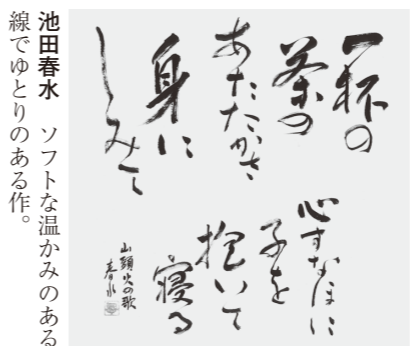


津田真千子 単調に見えるが詩情のある表現。

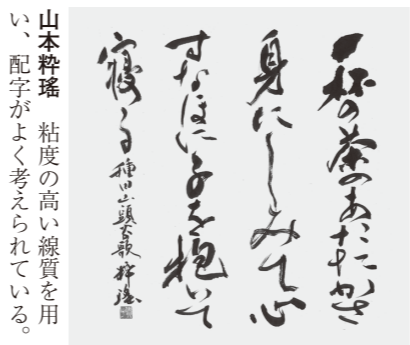


美坂光芳 穂先を巧みに操り、文字に表情あり。

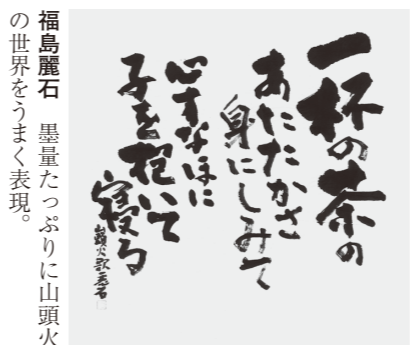
〈A課題の部〉



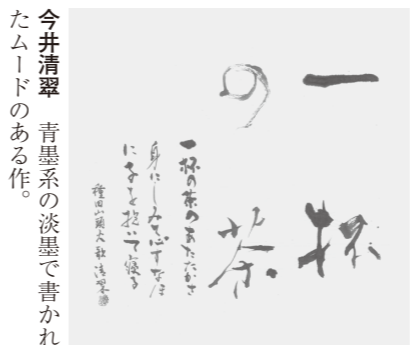
池田春水 ソフトな温かみのある線でのりのある作。



山本粹瑤 粘度の高い線質を用い、配字がよく考えられている。



福島麗石 墨量たっぷりに山頭火の世界をうまく表現。



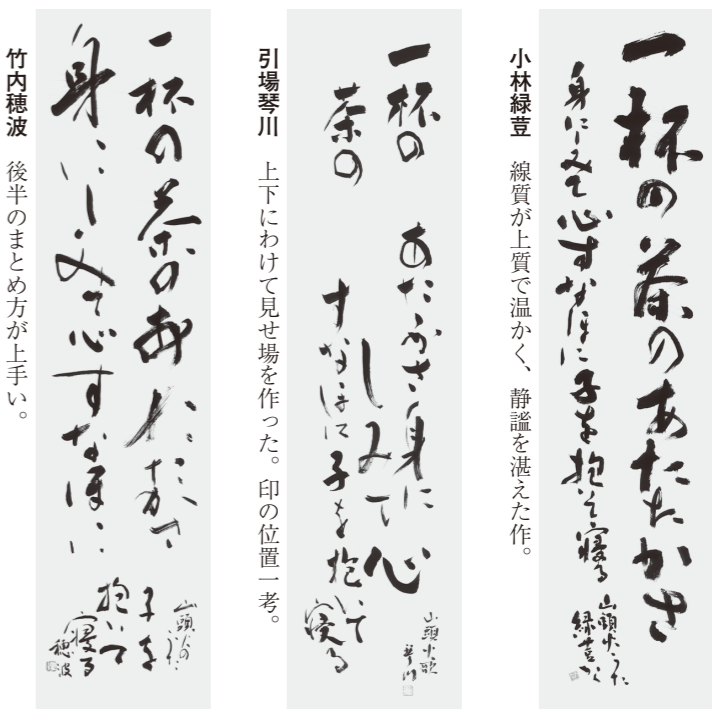
今井清翠 青墨系の淡墨で書かれたムードのある作。

優秀作品

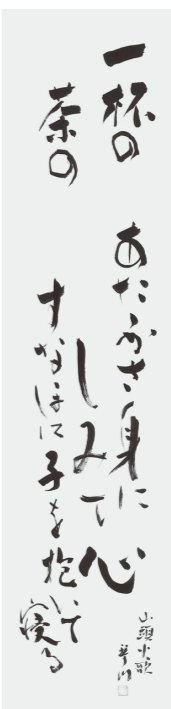
- A PHOENIXは霊鳥なり 焚けて又火中より起つ (森鷗外 詩)
- B こんなよい月を一人で見て寝る (尾崎放哉 句)

現代書部 次号課題

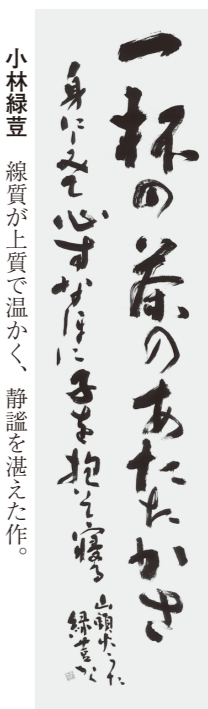
「あひかり、何を勉強すれば、何をどのように練習すれば、「いい線」がひけるのだろうか。はた、と考えます。一方で作品制作をしながら、「あの古典の、あの字」が使用したいと頭をよぎる瞬間があります。それを「引き出し」というそうです。その「引き出し」を増やすのが、古典を勉強する意味だとか。新春のギャラリートークで聞いた話です。早速、これを今年の目標に設定。みなさんも、「引き出し」を増やすためにも、古典臨書に励みましょう。まずは、前期の課題「雁塔」、「関戸」から。



竹内穂波 後半のまとめ方が上手い。



引場琴川 上下にわけて見せ場を作った。印の位置一考。



小林緑菫 線質が上質で温かく、静謐を湛えた作。